

行事報告書(研修)

報告者:溝部 浩二

行事名	甲山研修会
実施日時	平成27年 3月12日(木曜日) 10時～15時 晴れ時々曇り
場所	甲山森林公園内
テーマ	展葉フェノロジー対象樹木観察および公園内の植物観察
講師	児玉勝久講師
参加者数	38名
内容 (項目と概要)	<p>1. 今月の樹「ミツマタ」(児玉講師)</p> <p>春早い時期に葉の展開前に開花するミツマタは、今が咲きはじめの頃である。冬芽は裸芽で花芽は大きく銀白色であるが、開花するとガク筒の内側が黄色を帯びて美しい。葉の展開後、シュートの成長過程の中で6月頃3つの枝に分かれるが、分枝の推移を記録した興味深い写真を見ることができた。</p> <p>2. サクラ前線(児玉講師)</p> <p>今年のサクラ前線は、3月20日の高知が最初で、その後、福岡・名古屋・東京・大阪の順に開花が予想されている。</p> <p>3. 展葉フェノロジー調査(飯盛さん)</p> <p>今年も昨年に引き続き、甲山森林公園内で展葉調査を行う。他の地区(西山・私市・高代寺・岸和田)と同じ樹木を対象に実施する。常緑樹7種(イヌツゲ・カナメモチ・シャリソバイ・ソヨゴ・ヒサカキ・ヒメユズリハ・ヤブツバキ)、落葉樹3種(コナラ・コバノミツバツツジ・ネジキ)、半落葉樹1種(モチツツジ)の合計11種、110本の樹木を対象とする。</p> <p>4. 野外観察(児玉講師)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展葉フェノロジー調査対象樹木を観察し、展葉の状況を記録した。大半の樹木はまだ芽の段階であったが、一部ネジキ等でステージ1(芽が伸びはじめ)の樹木があり、昨年より若干早い展開が予想される。 ・園内の観察コース(展望台～北入口～外周散策路～梅林～西入口～管理事務所) <p>花が咲いていた樹木では、オオバヤシャブシ、ヒメヤシャブシ、ヒサカキ、ミツマタ、ヤブツバキ。冬芽ではソメイヨシノ、ヤマザクラ、マルバアオダモ、ヤマウルシ、ムラサキシキブ、ウラジロノキ、アラカシなどを観察した。</p> <p>5. 今月から新たに購入したプロジェクターを研修会で使用した。</p> <p>明るい画面で室内を暗くしなくてもきれいな映像を見ることができた。</p>
まとめ 感想	少し寒かったが、久しぶりに甲山に戻って自然観察を行った。まだ、主に冬芽の観察が中心だったが、つぼみや花も見ることができて楽しい観察会だった。



展葉の調査



オオバヤシャブシ



ミツマタ